

事 務 連 絡
平成 29 年 12 月 11 日

正会員 事務局長 各位

公益社団法人全国産業廃棄物連合会
専務理事 森谷 賢

平成 29 年度低濃度 PCB 廃棄物の適正処理推進に関する検討会について（情報提供）

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、件名検討会が設置され、低濃度 PCB 廃棄物の処理についての検討がなされていますので、別紙のとおり情報提供いたします。今後は、第 2 回目以降の検討会につきましても、随時情報提供してまいります。

貴職におかれましては、貴協会会員の PCB 廃棄物の処理が可能な事業者等への情報提供等にご活用ください。

本検討会は非公開のため会議資料も非公開の扱いとなっています。このため、本会議資料から連合会にて内容を一部抜粋して提供していることを申し添えます。

なお、廃棄物処理法に基づく無害化処理認定施設は、環境省の以下の URL をご参照ください。

<http://www.env.go.jp/recycle/poly/facilities.html>

（担当：調査部 日浦）

平成 29 年度低濃度 PCB 廃棄物の適正処理推進に関する検討会について（概要）

1. 検討会の設置目的、他

微量の PCB に汚染された電気機器等の物量把握を主な目的とする。

検討会メンバーは添付名簿のとおり。

2. 今後の作業（無害化処理事業者にかかる事項のみ抜粋）

(1) 無害化処理事業者に対するアンケート調査（現在実施中）

- ① 無害化処理事業者が保有している処理機器の種類別・大きさ別・濃度別の処理実績
- ② 処理機器に関する情報の管理方法

(2) 今後の作業

- ① 処理実績報告値を集計、解析
- ② 無害化処理事業者ごとの処理機器に関する情報の管理方法から、使用可能なデータの集計方法を検討
- ③ 無害化処理事業者ごとの欠落する報告値を推定、補完して解析
- ④ 排出元の業態ごとの処理量、処理機器等に関する情報を解析
- ⑤ 集計、解析したデータを JEMA 報告書の数量推計と照合して、汚染機器の存在実態を推定

3. 今後の検討スケジュールと検討内容

時期	主な検討内容等	検討会
平成 29 年 11 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> • 微量の PCB に汚染された電気機器等の物量把握に向けた課題と今後の作業 	第 1 回検討会
平成 29 年 12 月～1 月	<ul style="list-style-type: none"> • 処理事業者実績の解析 • 製造者、使用者への聞き取り調査 • 特措法、電事法届出データの解析 • 封じ切り機器採油可能性調査 • 課題の整理 	-
平成 30 年 1 月～2 月中旬	<ul style="list-style-type: none"> • 台数調査中間報告 • 課題再整理 	第 2 回検討会
平成 30 年 1 月～3 月始め	<ul style="list-style-type: none"> • 台数調査結果の解析（継続） • 新たな課題の抽出、深掘り 	-
平成 30 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> • 台数調査結果報告 • 今後の検討課題整理 	第 3 回検討会

以上

【別紙】

平成29年度低濃度PCB廃棄物の適正処理推進に関する検討会 委員名簿

- 飯野 寛 公益社団法人東京電気管理技術者協会 業務執行理事
- 石原 秀行 電気保安協会全国連絡会 技術部長
- 上野 大介 佐賀大学 農学部生物環境科学科 准教授
- 大内 雄次 一般社団法人日本電機工業会 PCB処理検討委員会 委員長
- 川本 克也 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授
- 岸川 伸哉 電気事業連合会 微量PCB問題検討委員会 委員長
- 酒井 伸一 京都大学 環境科学センター センター長、教授
- 菅 範昭 兵庫県 農政環境部 環境管理局 環境整備課長
- 鈴木 剛 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター
ライフサイクル物質管理研究室 主任研究員
- 飛田 実 DOWA エコシステム株式会社 代表取締役社長
- 宮金 満 北九州市環境局環境監視部環境監視課長
(兼) PCB処理対策担当課長
- ◎ 森田 昌敏 愛媛大学 農学部 客員教授
- 山崎 章弘 成蹊大学 理工学部物質生命理工学科 教授

(◎：座長)

【オブザーバー】

- 関係団体
 - 一般社団法人日本経済団体連合会
 - 公益社団法人全国産業廃棄物連合会
- 関係省庁
 - 経済産業省

その他、検討会が必要と認めた者